

新

入生のみなさん、京大へ入学されておめでとう。

3月の合格発表の後、健康診断、講堂登録、入学式、単位登録など大学生活に対して期待とさわびり不安を感じたことでしょう。

おめでとうという言葉も色々ござりましたが、大学にも慣れ少しおもふさを感じる、それが五月です。

世間ではこれを五月病と称し新入生は必ずかかる病気なのです。

学問研究の為に大学に入學した人が、自分が思うよりは勉強が下手になってしまい、失意する時期、そしてある者は挫折し遊びの道へはいる時季です。

折角、あれだけ努力して合格して来たのに入学して遊んでしまうのは話になりません。世間並みのパターンを繰り返していくだけでは、人並みの人生しか送れません。確かに京大生として *Name Value* はあるやうれしいものは、ちに受けなものには至りません。あくまで人間性、人間味が大切なのです。

人間性、人間味とは人生について深く真剣に考えるか否かによって決まります。

人生の目的はその中でも最も大切なものです。毎年人生の目的が割らない為に自殺してしまった人は、あとで悔ちません。貧困が自殺の原因ではないのです。例えば川端康成のように金や名譽があつても自殺してゆく人はたくさんあります。

これらは皆「せんなりつづり」に「せんなりつづり」ではなくならないのがど、い」と「わかる」「人生の目的」が判らなかったのです。

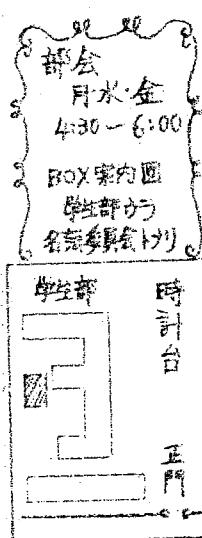
我々も、「達成がやがて喜ぶの知れません。全て人事ひとことで喜ばれないので、また達成感「かなづこ」に「かづこ」の上達感「かづこ」がねばならないのが、と言わぬかない時間が少しあそ暮れるのです。

このように人の生命を左右する程大切な問題が「人生の目的」なのです。

万事を未だの「人生の目的」です。

人生を未だるのは君達自身です。

本当の「人生の目的」を知り充実した人生を送ると思はせらば、歓喜抄研究会の講演会に口火を運んで下さい。



研究会抄黙歓喜が大切か！

